



活動レポート

2023 年
4 月

いつもご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。
2023年4月のFIJの活動内容や成果についてご報告します。

ファクトチェックの認知・信頼向上に関する取組み

▶ファクトチェックアワードの応募締め切り

「[ファクトチェックアワード2023](#)」の応募受付を4月20日に締め切り、多数のご応募をいただきました。受賞作の発表を6月に行います。

また、4月1日にアワードに関連した[プレスリリース](#)を発信しました。PR TIMESが企画する「April Dream」の趣旨に賛同した「夢のプレスリリース」として、アワードや国内外のファクトチェックの取組みを広く知っていただくための発信となっています。



ファクトチェックアワードは、社会的関心の高い事柄に関して正確な事実の共有に貢献したファクトチェック記事や映像作品を顕彰し、その社会的意義を広めることを目的としています。

▶ファクトチェック・ナビの更新

4月には、8件の[ファクトチェック結果](#)、16件の[誤情報関連ニュース（リンク集）](#)を登録しました。

ファクトチェック支援システムの運用

▶疑義言説の収集状況

疑義言説データベース[ClaimMonitor](#)の4月の新規登録件数は128件でした。一般からは100件を超える情報提供がありました。

理事の対外活動・メディア出演等

- 瀬川理事長のコメントが日本経済新聞（日経電子版）4月6日付記事「[情報氾濫の時代に確かな報道 6日から新聞週間](#)」に掲載されました。
- 瀬川理事長が[食品化学新聞4月6日号](#)に「ファクトチェックイニシアティブ（FIJ）の取り組み」を寄稿しました。（リンク先は目次のみ）
- 藤村副理事長が4月10日、シンポジウム「デジタル空間の活用と健全化に向けて」（慶応義塾大学サイバー文明研究センター主催）に登壇、発言の一部が4月26日付の[読売新聞オンライン](#)に掲載されました。

●古田理事が4月26日、「フェイクニュースと日本 — 私たちにできること・社会としてできること —」（G7デジタル・技術大臣会合関連イベント、主催：GLOCOM、協力：FIJほか）に登壇しました。[収録映像](#)が公開されています。

●瀬川理事長が理事長を務める報道実務家フォーラムが、4月28日～30日に[2023年のフォーラム](#)を開催、古田理事が29日のセッション「ファクトチェックの垂直立ち上げ AI時代に事実を届ける方法」に登壇しました。

今後ともご注目・ご支援のほど、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

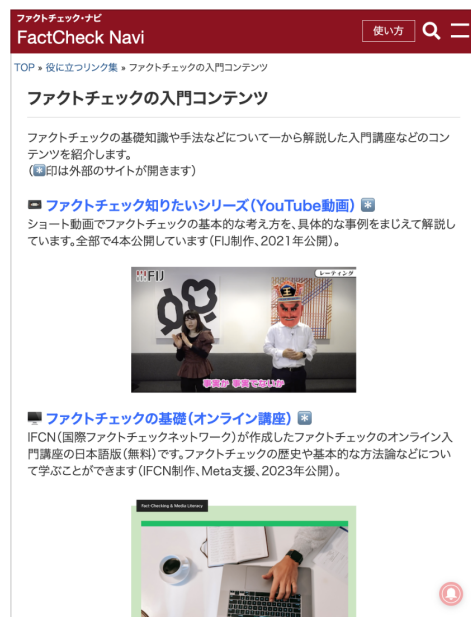


いつもご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。
2023年5月のFIJの活動内容や成果についてご報告します。

ファクトチェックの認知・信頼向上に関する取り組み

▶「ファクトチェックの入門コンテンツ」ページを公開

ファクトチェック・ナビに「[ファクトチェックの入門コンテンツ](#)」ページを公開しました。FIJが作成した動画「知りたいシリーズ」、IFCNがMetaの支援を受けて4月に公開した「ファクトチェックの基礎（日本語版）」、FIJも協力したGoogleの「ファクトチェックチャレンジ」などをご案内しています。このページを含む「[役に立つリンク集](#)」には、内外のファクトチェックサイトや、関連する調査・研究などへのリンクを掲載し、随時更新しています。ぜひご利用ください。



▶ファクトチェック・ナビの更新

5月には、5件の[ファクトチェック結果](#)、31件の[誤情報関連ニュース（リンク集）](#)を登録しました。

▶ファクトチェックアワード2023

「[ファクトチェックアワード2023](#)」の6月の発表に向けた作業が進んでいます。5月15日に2回目の選考委員会会合が開かれ、自薦・他薦をいただいた候補作全39本の確認などを行いました。

ファクトチェックアワードは、社会的関心の高い事柄に関して正確な事実の共有に貢献したファクトチェック記事や映像作品を顕彰し、その社会的意義を広めることを目的としています。今回が初の開催となります。

ファクトチェック支援システムの運用

▶疑義言説の収集状況

疑義言説データベース[ClaimMonitor](#)の5月の新規登録件数は126件でした。一般からの情報提供は44件でした。

理事の対外活動・メディア出演等

●乾健太郎理事（東北大学大学院教授）らのチームによる研究成果「[なぜひとは誤情報を信じ続けるのか？訂正情報の効果を制限するオンライン行動の特徴を解明](#)」が発表されました。（5月9日）

●古田大輔理事が、自身が編集長を務める日本ファクトチェックセンター（JFC）のウェブサイトで「[JFCファクトチェック講座](#)」を開始、全9回が公開されました。（5月9日～22日）

●山崎毅理事の論考「[生成AIのリスクをどう解消する?!](#)」が、自身が理事長を務める食の安全と安心を科学する会（SFSS）のウェブサイトに掲載されました。（5月16日）

今後ともご注目・ご支援のほど、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。





活動レポート

2023 年
6 月

いつもご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。
2023年6月のFIJの活動内容や成果についてご報告します。

ファクトチェックの認知・信頼向上に関する取組み

▶ファクトチェックアワード2023

FIJ主催「ファクトチェックアワード2023」の授賞式を6月21日に開催しました。
2022年1月から2023年3月までに発表されたファクトチェックについて、応募作39点の中から大賞に選ばれたのは、「高額医療費負担廃止検討」のニュースに関する、リトマスの10月3日の記事です。

優秀賞に選ばれた5点は、テレビ報道を含む多彩なものとなりました。

選考委員から「ファクトチェックが果たしうる役割の一面を示した」と評価された大賞の記事など、受賞各記事と講評を[アワード特設ページ](#)でご紹介しています。

アワードの結果を報じた記事と、受賞したリトマスによる発信をご紹介します。

[国内初の「ファクトチェックアワード」TBS、日テレ抑えリトマスが大賞](#) [マスコミ未経験者による小規模団体](#)（J-CAST、6月22日）

[リトマスの記事が「ファクトチェックアワード2023」大賞を受賞](#)（リトマス、6月21日）

「高度医療費負担廃止検討」のニュースをめぐる他制度とのおそれについて注意を喚起した記事（リトマス）



- 「高度医療費負担廃止検討」は正確だが誤解に注意 利用者へ返金の「高額医療費制度」とは別制度（リトマス 2022年10月3日掲載）

▶ファクトチェック・ナビの更新

6月には、7件の[ファクトチェック結果](#)、19件の[誤情報関連ニュース（リンク集）](#)を登録しました。

▶ 疑義言説の収集状況

疑義言説データベース[ClaimMonitor](#)の6月の新規登録件数は117件でした。一般からの情報提供は31件でした。

理事の対外活動・メディア出演等

●古田大輔理事が、自身が編集長を務める日本ファクトチェックセンター（JFC）のウェブサイトで「[JFCリテラシー講座](#)」を開始しました。「誤情報/偽情報に対応する様々な『リテラシー』について学ぶ連載」として、6月15日の第1回から、月内に第3回までが公開されています。

FIJ総会報告

6月22日（木）14時からFIJの2023年度通常総会が開催され、活動報告・会計報告が承認されました（[情報公開ページ](#)）。役員の改選により、新たに日下部聡、脇浜紀子両理事が選任されました。プロフィールを[団体公式サイト](#)でご紹介しています。

また、任期満了により金井啓子、楊井人文両理事が退任しました。お二人はFIJ創設メンバーとして組織運営やプロジェクトに携わり、日本におけるファクトチェックの発展に大きく貢献しました。さらに楊井理事は事務局長としてFIJの活動を牽引するとともに、メディアや公的な場で数多くの発信・発言を行うなど、第一人者として活躍しました。総会では、お二人への感謝と慰労、今後のFIJへのサポートへの期待の言葉がかけられました。

今後ともご注目・ご支援のほど、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。